

2022レスリング世界選手権



古市 雅子 3等陸尉

©SACHIKO HOTAKA

2022 レスリング世界選手権はセルビア共和国（ベオグラード）において令和4年9月10日から18日までの9日間開催された。自衛隊体育学校からはフリースタイル74kg級に高谷大地2等陸尉、同125kg級に山本泰輝2等陸曹、グレコローマンスタイル72kg級に堀江耐志2等陸曹、同87kg級に角雅人3等陸曹、同97kg級に鶴田峻大3等陸曹、女子フリースタイル72kg級に古市雅子3等陸尉の6名が出場した。

Free style Woman 72kg 女子フリースタイル72kg 古市 メダル獲得

大会5日目（14日）、女子フリースタイル72kg級（五輪非階級）に出場した古市3尉は、初戦を難なく勝利し迎えた準々決勝では、ケンドラ・ダッチャー（フランス）と対戦し、同点で迎えた後半の終了間際にタックルを決めて4点を獲得し[8-4]で勝利した。準決勝ではアミット・エロー（アメリカ）と対戦し、試合終了まで残り10秒で1点差に詰め寄るも[2-3]と惜敗し、翌日の3位決定戦に臨んだ。大会6日目（15日）の3位決定戦ではブセ・カブソグル・トスン（トルコ）と対戦し、試合開始から2分、積極的な攻めで2点を先取した。後半で同点に追いつかれたが、相手の反則で更に1点を獲得し[3-2]と接戦を制し、見事銅メダルを勝ち取った。

試合後、古市3尉は、「全試合で最初に自分がアクティビティ・タイム（消極的な選手に課せられる、ポイントを獲得する時間。30秒間でポイントが成立しなかった場合、相手選手に1点が与えられる。）を貰ったので、前に出て崩しが攻めに繋がるように臨みました。準決勝で負けたことは悔しいですが、相手はこれまでに戦ったことのないタイプだったので、自分の中でこういった相手に対して自分のレスリングができるようにしていけないと思いました。」と語り、68kg級のオリンピック階級に変更して臨む12月の天皇杯に向け「オリンピックの選考に絡んでくる重要な試合なので、しっかり準備をして全力で臨みたい。」と決意を述べた。

世界レスリング連盟 ロンドン 優勝の功績 小原 殿堂入り 栄誉

9月9日、レスリング班女子コーチの小原日登美3等陸佐がセルビア共和国（ベオグラード）において世界レスリング連盟（UWW）から2022殿堂入り選手に選出され授賞式に参加した。小原3佐は世界選手権優勝8回、2012ロンドンオリンピック優勝の成果を評価され、他にはオリンピック3連覇の吉田沙保里氏、オリンピック4連覇の伊調馨氏が受賞した。

小原3佐には、パリオリンピックに向けた体育学校選手の指導・育成など、レスリングコーチとしての益々の活躍を期待したい。



世界レスリング連盟会長から表彰を受ける小原3佐

試合結果

氏名	階級	出身地	種目階級	結果
高谷 大地	2等陸尉	京都府	フリースタイル74kg級	3回戦敗退
古市 雅子	3等陸尉	熊本県	女子フリースタイル72kg級	銅メダル
山本 泰輝	2等陸曹	静岡県	フリースタイル125kg級	1回戦敗退
堀江 耐志	2等陸曹	和歌山県	グレコローマンスタイル72kg級	1回戦敗退
角 雅人	3等陸曹	佐賀県	グレコローマンスタイル87kg級	1回戦敗退
鶴田 峻大	3等陸曹	沖縄県	グレコローマンスタイル97kg級	1回戦敗退

